

【抗インフルエンザ薬の治療フロー（成人の場合）】

監修 感染防止対策室 抗菌薬適正使用支援チーム（AST）
 2024.12作成 薬剤部 近江多詠、森良江、山崎貴之
 2026.7改訂 参照：添付文書、日本感染症学会HP、日本透析医学会ガイドライン
 国立成育医療センターHP、日本腎臓学会CKDガイドライン2023

治療

内服薬

価格重視

**オセルタミビルCap75mg/
オセルタミビルDS**

1回75mg 1日2回 5日間

Cap：1,080円/ DS：1,897.5円

※腎機能に応じて用量調整必要

Ccr>30：1回75mg 1日2回 5日間

10<Ccr≤30：1回75mg 1日1回 5日間

（下記は他剤の使用が困難な場合）

Ccr≤10, HD：1回75mg 単回投与

吸入薬

非重症

リレンザ5mg

1回10 mg(2⁷ リスター) 1日2回 5日間 **2,028円**

【慎重投与】喘息患者

※特に高齢者・腎疾患既往患者は注意
腎機能評価をした上で投与量を決定

重症

注射薬

ラピアクタ点滴静注300mg

通常 300mg 15分以上かけて投与 **6,197円**

※解熱得られない場合は連日投与可能

※腎機能に応じて用量調整必要

腎機能	1回投与量	
	通常量	重症化リスク高い場合
Ccr≥50	300mg	600mg
30≤Ccr<50	150mg	
10≤Ccr<30	100mg	
Ccr<10	推奨しない	
HD	初回100mg 以後透析後2時間後に100mg追加	

※特に高齢者・腎疾患既往患者は注意
腎機能評価をした上で投与量を決定

治療回数重視

ゾフルーザ錠20mg

80kg以上：80mg 単回 **9,755.2円**

80kg未満：40mg 単回 **4,877.6円**

【慎重投与】重度肝機能障害

イナビル吸入用粉末20mg

1回40mg(2本) 単回 **2,969.8円**

【慎重投与】喘息患者

※非重症例で内服・吸入困難例はラピアクタ点滴静注300mgを推奨
 ※妊婦では胎児への影響が少なく安全なオセルタミビル、リレンザ、イナビルが推奨される

予防【自費診療】

内服薬

オセルタミビルCap75mg/オセルタミビルDS

1回75mg 1日1回 7～10日間

Cap：756～1,080円

DS：1,328.25～1,897.5円

※腎機能に応じて用量調整必要

Ccr>30：1回75mg 1日1回

10<Ccr≤30：1回75mg 隔日（4～5回）

（下記は他剤の使用が困難な場合）

Ccr≤10：初回75mg、7日目に75mg追加（計2回）

HD：初回75mg、2回目のHD後に75mg追加（計2回）

※特に高齢者・腎疾患既往患者は注意
腎機能評価をした上で投与量を決定

ゾフルーザ錠20mg

80kg以上：1回80mg 単回 **9,755.2円**

80kg未満：1回40mg 単回 **4,877.6円**

吸入薬

リレンザ5mg

1回10 mg(2⁷ リスター) 1日1回 10日間 **2,028円**

イナビル吸入用粉末20mg

1回40mg(2本) 単回 **2,969.8円**

もしくは

1回20mg(1本) 1日1回 2日間 **2,969.8円**

※金額は2026.4時点の薬価を基に総治療日数で試算